

にゅとぴあ 岸和田

岸和田市国際親善協会だより

ifa-きしわだ

No. 124



黄色ライトアップ
岸和田城

2019年度事業報告及び 2020年度事業計画



ご挨拶

会長 井上 實

このたび2020年度総会を急遽書面により実施いたしました。会員の皆様のご賛同を得て、すべての議案の承認・議決をいただいたところで、心からお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症が世界と日本で急速な広がりを見せ、WHOの3月のパンデミック宣言からも感染の拡大が右肩上がりに上昇カーブを描く現状が止みそうもありません。モノ・カネ・人が自由に国・地域を行き来するボーダーレス社会にはウイルスや病原菌の往来、定着、拡大も急速です。地域の国際化に関わり、携わる私たちにも格別の心づもりが必要になっています。

4月には大阪府に緊急事態宣言が発令され、本市でも3月から複数感染者の情報が続いています。現時点では予防薬、治療薬なく、社会的に人との距離を充分にとり、集団感染には3密、密集、密閉、濃密接触を避けること。結局は一人ひとりが新しいウイルスの宿主にならないように自覚し行動することが唯一の防御策のようです。

ある疫学研究者によれば1年から2年、山と谷を繰り返し、早期の収束は難しいとの先の暗い予測もあります。

フランスのカミュの作品『ペスト』。1940年代仏領アルジェリアの港湾都市オランに発生したねずみを感染源にした伝染病ペスト。街が閉鎖され、家族や友人との別れ、街中が悪戦苦闘し、9ヵ月後に

収束・勝利宣言。それは人間同士の連帯に救いを見出すというものです。行政と医療従事者、ボランティア、市民との連帯が何よりも大切だとしています。そして個人には、誠実さと職務を忠実に果たすことが求められています。

フィクションの世界とはいえ、世界の現状打破に一縷の希望と糸口を与えてくれます。

当協会では感染が確認された2月から多くの事業を中止、延期し、新年度4月からも感染拡大防止のためすべての事業を見合わせざるを得ない状況が続いています。

ここ数年本協会の事業の主力は、地域で働き、生活する外国人への日本語の指導、小中学校での児童生徒のサポート、病院などでの通訳などにシフトしてきています。

今後とも本市と地域の国際化に役立つべく会員の皆様のご理解とご尽力をお願いしまして新年度に際しての挨拶とします。

《2020年度総会

開催中止に伴う書面議決について》



新型コロナウイルスの動向を見守りながら総会実施に向けて準備をすすめて参りましたが、4月7日大阪府に「緊急事態宣言」が発令されましたので、感染拡大防止のため、総会の開催は中止の止むなきに至りました。本来なら総会を開催して、皆様の承認を得るところではございますが、会則第10条(総会)と第17条(委任)の規定により、総会を書面議決とさせていただきます。議案の可決につきましては、「にゅとぴあ123号」に同封しました回答書の集計結果に基づき、ご承認をいただきました。なお、3月26日開催の理事会で2019年度事業報告・決算の審議、2020年度事業計画(案)の審議を行い、承認をいただき、そして4月3日会計監査を受け、適正に処理されていると認められましたことを申し添えます。また当協会が主催する外国人のための日本語サロンにおいて、10年間に亘り、支援にあたられ、多大の尽力をされた功績により、川崎幸子、草川順治、田中敬子、山口友子(敬称略)の方々に感謝状と記念品が贈呈されました。(広報部会)



無料配布中

「にゅとぴあ岸和田」は世界の人びと、団体、都市との出会いを求め、ふれあいを大切にしたい親善・交流を通してお互いの連帯を深め、世界の平和と繁栄、人びとの幸福の増進のための貢献を目的とした、岸和田市国際親善協会の活動記録とメッセージの発行物です。



Since 1989

ifa-きしわだ
岸和田市国際親善協会



ifa-kishiwada.rinku.org

岸和田市長 あいさつ

岸和田市長 永野 耕平

皆様方には、平素より、本市のまちづくりに多大のご理解とご協力をいただき、この場をお借りいたしまして厚くお礼申し上げます。

さて、岸和田市国際親善協会も1989年に設立されてからこれまで、永きに渡り国際交流の発展にご尽力賜っております。協会会員の皆様方のご活動に、改めまして敬意と感謝を申し上げます。

近年、社会情勢並びに国際情勢は大きな変貌を遂げました。そのような中、岸和田市国際親善協会におかれましては、世界の人びととの出会い、ふれあいを大切にし、国際交流を深めるうえで重要な役割を果たしてこられました。



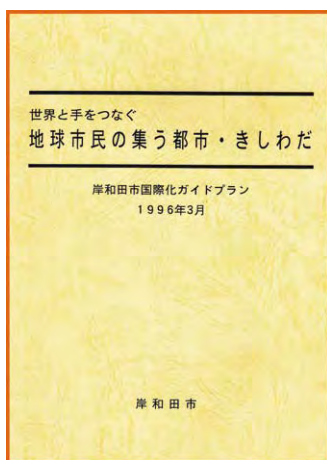
日本語サロンの開催、祭礼時には外国人のためのインフォメーションセンターの開設をはじめ、岸和田市の友好姉妹都市との交流事業の際には、常にリーダーシップを発揮され、心より感謝申し上げます。

近年、関西国際空港を通じてお越しいただく海外からの観光客は年々増加傾向にあり、異文化に触れる機会も多くなっております。本市としても、お城周辺の歴史的資源を活用するなど、積極的なインバウンド誘致に努めてまいりますので、どうか今後とも国際交流を通じた地域社会の形成にご助力いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、岸和田市国際親善協会の益々の発展と、皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

岸和田市の国際化について考える

岸和田市国際化ガイドプランから（その1）



1996年（平成8年）に岸和田市が策定した「岸和田市国際化ガイドプラン」について4半世紀たった今、概要とその意義について振り返ってみます。

1994年の関西国際空港の開港といった環境の変化から「国際化」は、従前の親善・交流中心から変更を余儀なくされつつあり、今後必要となる国際化推進のための

施策の方向と考え方を整理し、今後の岸和田市の進むべき方向と取るべく方策を国際化の指針としてまとめたものです。

すべての人々の人権を尊重し、多様な価値観や文化を尊重するようなまちづくり、ひとづくりがこれからは重要になるとの認識のもとに、世界の人々とのふれあいを通じ様々な刺激を、新しい文化の創造へとつなげ活かしていくことが「国際化」への道であると考え、このことがこれからのまちづくりにとって大切な要素になるとしています。

またそのことが地域文化をいっそう発展させ、地域の主体性をさらに確かなものにするにも期待できるとしています。

さて、市民が想定し望む岸和田市の国際化とはなにか、プランに先立って行われた《市民アンケート調査の結果》

からみてみます。

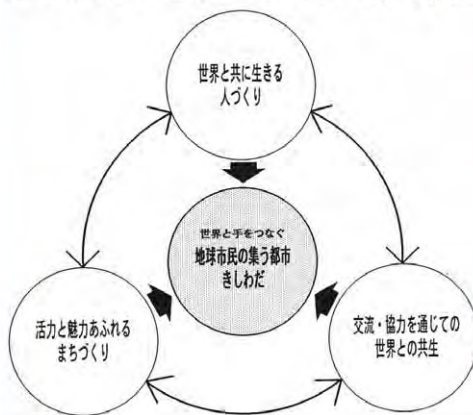
増加する外国人に対する思いとしては、違和感や差別感なく共に生活できるような地域社会になって、そのことによって地域の文化が多様に豊かになるということが多くの市民に期待されていることがわかります。

また、外国人に対して今後必要になるとされる市の施策としては、市の総合窓口の設置と安心してかかる医療体制の整備が多くの市民から提案されています。

これらの諸施策は現在の外国人が直面している状況となんら変わりません。

（井上 實）

■基本理念と3つの基本目標の概念





多文化共生講座 STAY HEALTHY

人も物もお金も文化も簡単に国境を越える時代。い万人やウィルスをや。新興感染症がどこかで発生し、国境を越えて全世界に広がるというシナリオは、大地震の発生を予測するよりも蓋然性の高い想定内のことのはずでした。コロナウィルスによる重症感染症は、これまでも SARS（重症急性呼吸器症候群）と MERS（中東呼吸器症候群）がありました。日本には SARS も MERS も入ってきていませんが、これは単に「運が良かったから」と言われています。今回のコロナウィルス（COVID-19）で、私たちの日常生活、そして社会生活は一変してしまいました。人権意識の高い欧米においてさえ、都市封鎖や外出禁止、国境閉鎖に踏み切りました。日本は外出自粛にとどまったものの、政府や都道府県知事の一言一句に多くの人が一喜一憂（一奇一憂？）し、正しく恐れることも忘れて、政府や病院におんぶに抱っこ状態を求めているようにも見えました。「新興感染症は人類が続く限りいつでも起き得るもの」であり、その「対策は、地球温暖化、テロ、核戦争、自然災害などと同じようにリスク管理の対象」というのは、『人類と感染症の歴史』の著者でウィルス学者の加藤茂孝氏の言葉です。でも私は COVID-19 のような感染症に関しては、地球温暖化や戦争、自然災害などとは決定的に違う対処方法があると思っています。それは“STAY HEALTHY”。これまでの状況を鑑みると、免疫が正常に機能している状



大阪大学大学院人間科学研究科
ユネスコチェア運営室 助教

小笠原 理恵さん

態の人の体内で COVID-19 が猛威をふるえないことは、ほぼ間違いありません。つまり個人の力では太刀打ちできないテロや大規模災害に対して、少なくとも今回のウィルスには「個人の力こそが有効」と言えます。本来病院というところは健康管理のバックアップではないでしょうか。安心して当たり前に日常生活を送れるのは、バックアップ体制がしっかりしているからこそ。バックアップにおんぶに抱っこをせがむのはそろそろやめにして、まずは自分の足で歩きませんか？

（編集者注：別途 Information 及び同封チラシでお知らせの通り、8月1日（土）多文化共生講座で、コロナウィルス感染症に関した興味深い講演をしていただく予定です。）

やさしい

日本語 第4回



外国人等にわかりやすい日本語を使いましょう。

そのためには少し工夫が必要です。

122号のつづき

工夫⑦ 漢字の使用量に注意、漢字にはルビ(ふりがな)をふる

一文に3・4字程度が目安

あたま うえ き
頭の 上に 気をつけて ください。

工夫⑧ 時間や年月日の表記はわかりやすくする

令和2年 4/15 14:00～

ねん がつ にち ごこ じ
→ 2020年 4月 15日 午後2時から

工夫⑨ 動詞を名詞化したものはわかりにくいので、できるだけ動詞文にする

たす たす ゆ ゆ
助け → 助ける 揺れ → 揺れる
も も
漏れ → 漏れる

工夫⑩ あいまいな表現を避ける

×おそらく ×たぶん
つなみ おそ
津波の恐れがあります →
つなみ たか なみ く
津波<とても 高い 波>が 来るかもしれません

工夫⑪ 二重否定の表現

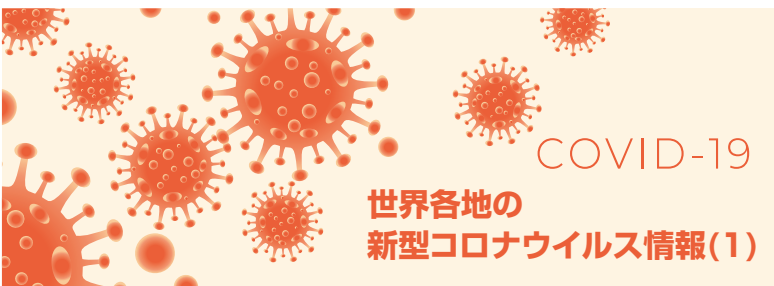
とお
×通れないことはない
つか
×使えないことはない

参考文献：「やさしい日本語」有志の会
「やさしい日本語」12のルール

①～⑫の工夫をした「やさしい日本語」を使って、外国の人とのコミュニケーションにつなげましょう。また、最近、多言語の中に「やさしい日本語」で翻訳されるようになってきました。英語翻訳、中国語翻訳、「やさしい日本語」翻訳ということです。（編集部）

工夫⑫ 文末表現はなるべく統一する

かのう
・可能「することができます」 ×「れる・られる」
も
燃えるごみ → 燃やすことが できる ごみ
し じ
・指示「～てください」
じゅうぶん ちゅうい
十分 注意してほしいと呼びかけています。
き
→ 気をつけて ください。 ちゅうい
注意してください。



世界各國の新型コロナウイルス感染症実態報告

新型コロナウイルスの拡大による日本の緊急事態宣言が発令されたことをめぐり、海外メディアは欧米の厳格な外出規制などと異なるとして、「大きな変化はない」と実効性を疑問視する一方、「対応が遅い」と批判的な声も上がった。

韓国の聯合ニュースは、自粛要請に従わなくても罰則がないことなどを理由に「強制力が不足しており、大きな変化はないとの見方もある」と報じた。

強制力については中国紙「新京報」も言及。外部識者の論評として「強制力に乏しい宣言によって、民衆が1か月も自宅に閉じこめられるのか」と疑問を投げかけた。また宣言を受けて実施される休業要請などに強制力がないことについては「日本の『恥の文化』が役割を発揮する。違反行為があれば巨大な世論の圧力を受けることになる」とした。

一方、米CNNテレビ（電子版）は「対応が遅かった」と伝えただけで、「政府は、経済への打撃を避けるよう意図的に対応に時間をかけたとの批判にさらされている」と伝えた。

苦境の日本への「応援」姿勢を鮮明にしたのが台湾だ。蔡英文総統は7日夜、自身のツイッターで「手を携えてこ



の闘いに勝ちましょう!」「地震も、台風も、台日の協力でも乗り越えてきた」などと激励した。

フランス紙フィガロは「現実にはみせかけだけ」と評し「日本人は在宅を強制されないし、自粛要請に従わなくても企業は処罰されない」と強調。

ロイター通信も「日本では自粛要請を無視しても、罰則はない。ロックダウンにある多くの他の国の厳格さとは異なるようだ」と報道。「東京では感染者が急増しており、緊急事態宣言の対応は遅すぎる」と問題視する公衆衛生の専門家の見解も紹介した。

これらの海外メディアの報じている新型コロナウイルス感染症対策に対して、世界各地の人々は実際にどのように感じているのか、生の声をレポートします。英語は原文のまま、その他言語は日本語訳です。（125号へ続編予定）



USAサウスサンフランシスコ市
Frank McAuleyさん
(姉妹都市協会 会長)

Dear International Friendship Association Members of Kishiwada,

Greetings from South San Francisco Sister City Members. This is indeed a difficult time for international relations when it is challenging just to survive each day and there does not appear to be an end in sight.

We are doing okay here although we are on 'shelter in place' restrictions which means stay at home, but, there is no where to go anyway! all restaurants, bars, coffee shops and entertainment centers are closed.

We are fortunate that our local leaders put in these restrictions early so the number of cases of coronavirus and fatalities is lower than many

other regions in the USA.

I believe the Japanese leaders have legal problems prohibiting them from demanding 'shelter in place' restrictions. I hope the voluntary measures will work and keep many citizens safe.

As I am sure you are aware, our Rotary Club had to cancel the student exchange program this year. I am sorry to say that there were many students very disappointed as a result. We also cancelled the invitation for a marathon runner to run the San Francisco Marathon in July. Hopefully this coronavirus will be a distant memory by this time next year and we can catch up with our exchange activities.

Also for next year there is support among my members for a return visit to Kishiwada. This would be a good way to celebrate the end of this disease.

I wish everyone the best of luck in defeating this coronavirus and keeping safe and healthy. And I am looking forward to renewing friendships with you all next year.

COVID-19 世界各地の 新型コロナウイルス情報(1)



スペイン・マドリード
フリオ ロドリゲスさん

(知人・医療関係者)

最初、私たちは少し悪い
インフルエンザくらいだとい

う認識で、外出禁止などの措置を深刻に受け止めなかった。もっと厳しくしていれば結果は違っただろう。医療スタッフはみんな寝ていない。何とか士気を保って患者さんに対応している。感染を防ぐ個人の防護具も不足し、2人に1セットしかない。また人口呼吸器が不足し空気が1台しかなければ、トリアージすなわち誰につけるかを考えなければならない。もう体力的にも精神的にも限界に近い。プロ意識だけで頑張っているが、ばたばたと倒れている。患者数が受け入れ可能な人数を完全に超えている。戦場に例えられる最前線で働く医師や看護婦にも感染が広がり、多くの死者を出している。このような厳しい状態は続き、家庭医がボランティアで協力にあたるなどして対応している。



Belgium・Kortrijk
Mr.D.Wさん

(知人)

Note that we are in a nearly full
lock down situation over here. All
restaurants, pubs, and shops not

selling food are totally closed. We can go out but with maximum 2 people unless it is a family situation. Also our borders are now closed so that early nobody can come into Belgium. Also we cannot leave Belgium anymore. A situation nobody ever has seen before. Very, very strange. All in the family are following the rules very strictly and me and my wife avoid contact with everybody. Our children and grandchildren are not coming in the home anymore and from our side we do not visit them either. Because of my personal situation we have to avoid all risks. So we are walking a bit and I am biking a lot. A lucky thing is that the weather over here has been very good, although pretty cold. But, a lot of sunshine.



台湾・台北
林 建忠さん

(ビジネス関係者)

SARS を経験した台湾では、政府
の動きは早く、新型コロナウイル
スに対する国民全体の自衛意識も高

いというTVという最強の媒体を使った国民への周知の徹底。“政府がちゃんとやっている”という安心感があり、国民一人ひとりが“もっとひどくなること”を想定してSARSの教訓を生かして自衛措置をとっている。街の中はマスク率高く、出歩く人が少なめな以外はいたって平和で通常通り。政府がマスクの輸出禁止措置をとり、国内で生産されるマスクを政府がすべて買い上げ。現在は国民が買えるマスクの枚数を制限して、転売できないようにしており、転売には厳しい罰則を設けている。



Italy・Milano
Mr.M.R.さん

(知人)

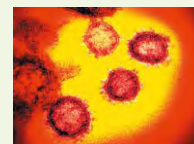
My family and I are OK and even
our staff are OK. Stuation is
improving but still very delicate.

We will be closed probably still 20 or 27 of April. We should be able to send goods end of April or maximum beginning of July. As we work for outside Europe we will have permission to work with small staff in office. I think economic situation will be very difficult soon for many people especially people involved in tourism, arts, restaurants. Many people without job. Here situation: in Lombardia 53.000 still with corona virus- Dead nearly 10.000. In Milano city 10.000 with Corona Virus. I think there are much more but hospital are collapsing so many people stay and prefer to stay home if not too bad.



エル ムンドとはスペイン語で「世界」を意味します。国際化の時代にあわせ世界のカルチャーファッション、旅行、ライフスタイル等々がどんどん変わりつつあります。その中で皆さんが日常生活で感じたことを題材にとらわれず、自由に投稿していただくという趣旨のコラムです。

《新型コロナ ウイルス感染症 ・カタカナ用語》



政府関係者や専門家会議から、聞きなれないカタカナ用語が飛び交う。何故わかり易い日本語で表現しないのか。オーバーシュート/Overshoot? サッカーでシュートに失敗?の意味ではなく「爆発的患者急増」、クラスター/Cluster? クラスター爆弾ではなく「感染者集団」、パンデミック/Pandemic「世界的流行病」、エピソード/Epidemic「限定地域流行病」、リンク/Link「感染経路追跡」、ロックダウン/Lockdown「都市封鎖」等々。

感染症や疫学の専門家の間では、日常的な用語なのだという。また厚生労働省の見解も「一般的に分かりづらいのは確かだが、日本語で正確な意味を伝えるべく、適合する日本語表現が難しい」と説明している。「都市封鎖」と表現すれば、まるで戦時中のような不安感を与えるので、無難なカタカナ用語を使うことにより、人々の不安やパニック心情を和らげるという意図も感じられる。日本では深刻な危機に直面すると、政府やマスコミが国民にショックを与えそうな言葉を柔らかく言い換える癖がある。

一方政治家が好んでカタカナの専門用語使うのは、恐らくそれだけではないだろう。漢字だとインパクトが強すぎるというのももっともだが、そこで細かな説明が要求される。言い方や言い回しによっては野党やマスコミからつまみ食いされたり追及されることもあるが、専門用語を使えばその必要はなく、また微妙なニュアンスの違いもそのまま専門用語を使えば、言葉使いを気にしなくても済むからであろう。

しかし聞き慣れないカタカナ用語が乱用されると、現実には何が起きているのかが伝わりにくく、危機に直面した時は、現実には起きていることをありのままに、分かりやすい言葉で伝えた方が不安やパニックを防げるのではなからうか。

緊急事態宣言が出されたに伴う外出自粛により、テレワーク (tel 離れた所、work 働く) / 在宅勤務 / 場所や時間にとらわれない働き方が浸透した。そして会社に行かなくてもテレワークで仕事ができるということに会社や個人が気づき、新しい働き方改革をもたらした。これはコロナウイルスがもたらした唯一のポジティブな教訓である。

(塩屋 裕)



EOC QUIZ

今日まで世界51か国からゲストを迎え、プレゼンテーションやQ&Aで、
親しく国際交流を図ることができました。

次の各国名・位置・国旗をセットで10か国以上を正解できた方は、
国際感覚の有資格者です。ぜひチャレンジしてください。

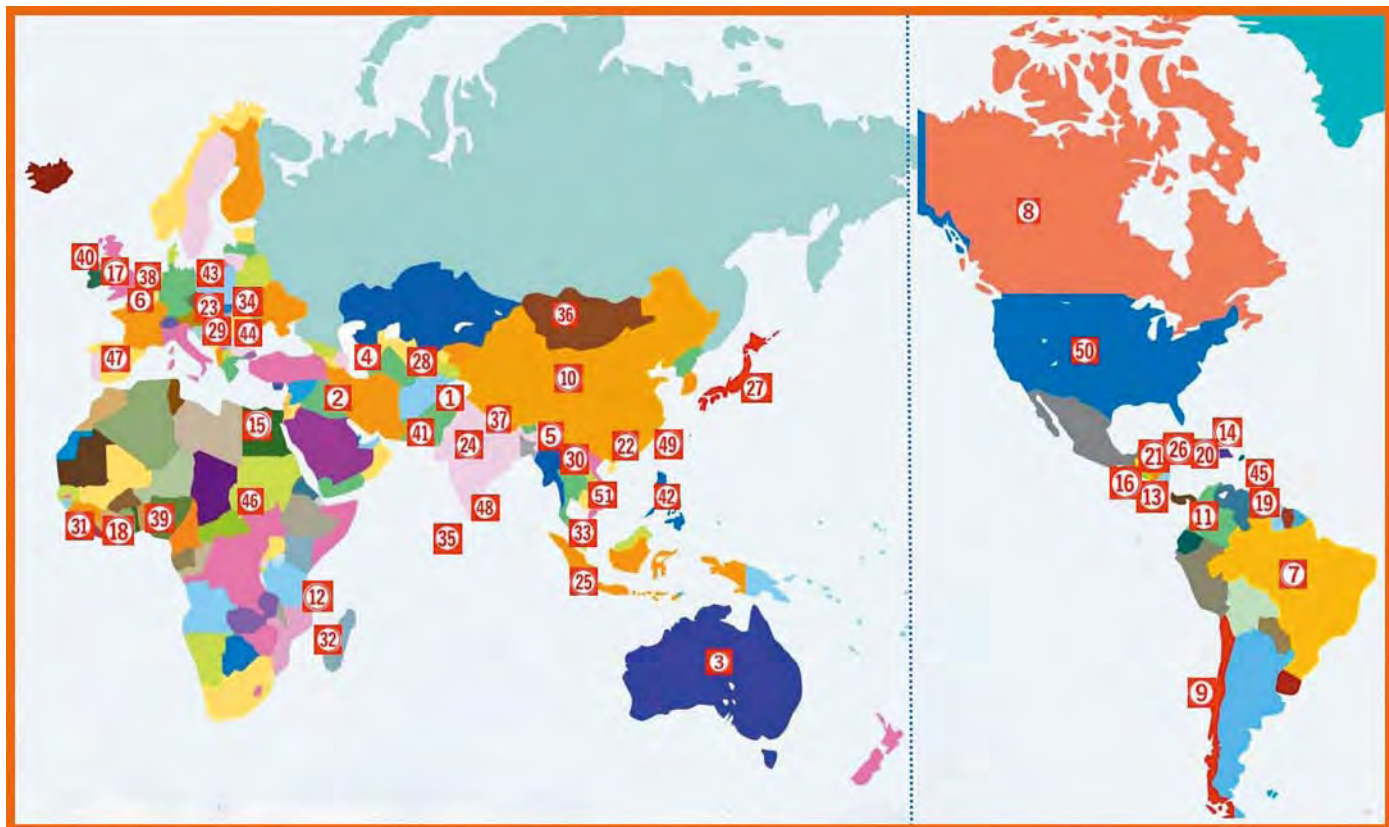
Шалгалт



Quiz

Adivinanza

- | | | | | | | |
|---------------|---------------|------------------------------|---------------|--------------------|--------------|--------------|
| ① Afghanistan | ② Armenia | ③ Australia | ④ Azerbaijan | ⑤ Bangladesh | ⑥ Belgium | ⑦ Brazil |
| ⑧ Canada | ⑨ Chile | ⑩ China | ⑪ Colombia | ⑫ Comoros | ⑬ Costa Rica | ⑭ Dominica |
| ⑮ Egypt | ⑯ El Salvador | ⑰ England | ⑱ Ghana | ⑲ Guyana | ⑳ Haiti | ㉑ Honduras |
| ㉒ Hong Kong | ㉓ Hungary | ㉔ India | ㉕ Indonesia | ㉖ Jamaica | ㉗ Japan | ㉘ Kyrgyzstan |
| ㉙ Kosovo | ㉚ Laos | ㉛ Liberia | ㉜ Madagascar | ㉝ Malaysia | ㉞ Moldova | ㉟ Maldives |
| ㊱ Mongolia | ㊲ Nepal | ㊳ Netherlands | ㊴ Nigeria | ㊵ Northern Ireland | ㊶ Pakistan | ㊷ Philippine |
| ㊸ Poland | ㊹ Romania | ㊺ Saint Vincent & Grenadines | ㊻ South Sudan | ㊼ Spain | ㊽ Sri Lanka | |
| ㊾ Taiwan | ㊿ USA | ① Vietnam | | | | |



《国際化・国際交流あいうえお!》

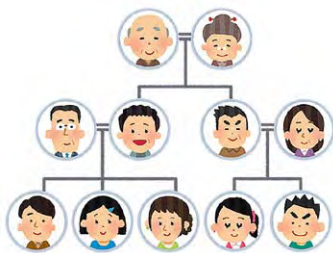
国際交流



随分昔のことになりますが、大勢の小学生児童たちにお話しをする機会がありました。そんな話題としての二つのやさしい絵本から『国際化・国際交流』について考えます。

まずは長谷川義史のデビュー作、「おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん」です。ぼく5さい、ようちえんたんぼぼぐみ。おとうさん、38さい。おじいちゃん、72さい。そしておじいちゃんのおとうさんはどんなひと?

ぼくには二人の両親、そして4人の祖父母、そして8人の曾祖父母がいます。このことからすると10代前(1代30年として)300年前の江戸時代までには1000人以上の先祖。30代さかのぼり縄文時代までには10億人になります。そしてついにぼくのひいひいひい



おじいちゃん、おさるさん?となります。トホホ、です。

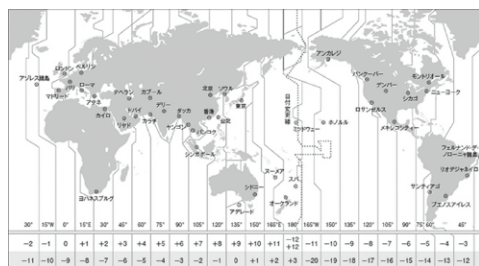
そうです、何百万年以上前かに類人猿と人類が分かれ、さらにそのずっと後に現代の私たちホモサピエンスが約20万年前、アフリカから長い年月を経て世界各地に拡散したとされる学説があります。現代に続く人間の共通の遺伝子をさかのぼると一人の女性ミトコンドリア・イブなど数千人くらいの集団に行き着くといえます。

20万年前は先祖の話からは何千世代にもなりますが、世界の総人口70億人はみんな5歳の幼稚園児のぼくの近い家族、遠い親戚といえます。そんなことを考えると世界の人々全員が仲良くしないといけません。世界平和はぼくと70億人の地球上の人々の願いです。

もうひとつ。「はらぺこあおむし」の著者アメリカのエリック・カーンなど世界で活躍する絵本画家・作家たちが共同で著した「オール・イン・ア・デイ」という絵本です。

イギリスのグリニッジ

はある年の1月1日の午前0時、アメリカでは12月31日の18時、ブラジルは22時、ソヴィエト(現ロシア)とケニアでは1日の3時、中国は8時、日本9時、オーストラリアは11時、日付



変更線近くの無人島は12時。住む国、地域が違って、子どもたちは大晦日や正月をそれぞれ楽しく過ごします。もちろん寝床で夢を見ている子どももいますし、家族で豪華な食事で祝い、楽しんでいる子どももいます。

この絵本では世界中の子どもたちが全く同じ時間にたくさんの違った遊びや行事を体験しています。雪だるまを作っている子もいれば他の国では海水浴をしている子もいます。

この絵本に関わった作家たちが読者への前書きで、生活するところが違うと肌の色が異なり、住む家の形や身に着ける衣服も、また話す言葉も大変違います、しかし、どこに住んでいようと笑ったり泣いたりするときの顔の表情や発する声は、まったく同じです、と。

これらの話が地域の国際化・国際交流の《あいうえお》になればと願っています。(井上 實)

地球家族

《ハワイの日本人墓地》



ハワイの玄関口ホノルル国際空港が、2017年4月27日から、正式名称が『ダニエル・K・イノウエ国際空港』と変更となりました。

ダニエル・イノウエ氏は、ハワイ生まれの日系二世ですが、アメリカ人としてアメリカ軍に志願し、戦後政治家として日系人初のアメリカ合衆国上院議員となり、その栄誉から空港にその名がつけられました。

そのホノルルから飛行機で40分ほどのマウイ島のカアナハナはハワイを代表するリゾートエリアで、一流ホテルと美しいビーチが有名で、日本人も多く訪れます。

そのリゾートの端にひっそりとHanakao Cemetery という日本人墓地があります。墓石には漢字で戒名と没年が記されていますが、訪れる人もいないのでしょうか、ほとんどの墓石には墓花もなく、荒れ果てた墓地です。

明治の終わり頃、多くの日本人が夢を抱いてハワイへ渡りましたが、現実にはサトウキビ畑の過酷な労働が待っていました。しかし、彼らは日本人移民としてハワイで住み、現地のアメリカ人達と付き合い、生きてきたのです。

彼らの労苦があったからこそ、今多くの日本人がハワイを訪れることが出来るのです。

今日の私たちは国際親善や、国際交流と言うと「国籍、人種、宗教等の区別なく我が国と世界各国の相互理解の増進及び友好関係の円満な発展を助長すること」と簡単に言いますが、前述の日本人移民がまさにそのルーツと思います。

その日本人墓地の墓石は、すべて夕日の沈む西の方に向けて建てられています。

帰りたくても帰れない、ふるさと日本の方角に。(内田 満弥)

岸和田に暮らして...

かつては外国の街、岸和田も、住めば都となり今は自分が暮らす我が街岸和田。そんな国際色豊かな ifa-きしわだの心強いサポーターでもある皆さんに、自分史や岸和田での暮らしについてお話いただいています。

第31回は

ミラグロス ソテロ バリガさん
(ペルー)

タレク アブドウラさん
(チュニジア)



KISHIWADA
第31回



岸和田市東部地域にお住まいの大変幸せな国際カップルです。奥さんのミラグロスさんはペルー・ウアラル（首都リマの南部）出身で日本に来て20年、ご主人はチュニジア・チュニス出身で10年とお二人ともすっかり日本の生活に慣れています。特にミラグロスさんは日本語も非常に堪能で、漢字の読み書きもできますので、日常生活において特に困ることはないそうです。

お二人は職場で知り合い、現在は小学校3年生の男の子、1年生になったばかりの女の子、そしてミラグロスさんのご両親、計6人の家族構成です。昼間は子どもたちだけなので、いつもテレビゲームに熱中にしていて困るそうです。ミラグロスさんが仕事から帰って、まず「宿題はちゃんとした？」と尋ねるのが定番となっています。

家族間の会話はやはり母語であるスペイン語が中心です。子どもたちは2人とも日本生まれなので、日本語に関してはさほど心配していませんが、スペイン語に関しては文法的に基づいた正しい読み書きができません。

外国人児童・生徒の多くがそうであるように、中途半端な日本語と母語との狭間に置かれた状態に悩んで



チュニジア・チュニス 市内

います。また未だ見たことのない母国ペルーの文化についても知ってもらうために、ミラグロスさんの依頼で、筆者が日本語と対比しながら、正しい母語を教え、ペルーの文化や地理について一緒に楽しく学習しています。

職場の人たちも分からないことは親切に教えてくれます。また岸和田では何でもあるので、休みの日には家族そろって出かけるそうです。（但し今は緊急事態宣言実施中のため出られません。）

毎年秋になると、だんじり祭りの鉦や太鼓の音を聞くと、ラテン系らしく心ときめき（Mucha Palpitación/ ムチャ パルピタシオン）、いたたまれない気持ちで踊りたくなるそうです。日本では女性が安心して夜一人で出かけるなんて、とても信じられないそうです。地震、津波、台風、洪水などの自然災害がたくさんありますが、世界一平和な国、日本、そして岸和田が大好きです。（塩屋 裕）



ペルー・ウアラル 市庁舎



■多文化共生理解講座

「コロナウィルス感染症から考える世界の医療体制」

【と き】 8月1日(土) 13:30~15:30

【ところ】 マドカホール 3F 視聴覚室

【講師】 大阪大学大学院 人間科学研究科 助教 小笠原 理恵さん

*本講演の前に、大阪府教育委員会教育サポーター

塩屋 裕(当協会副会長)より「岸和田市の外国人児童生徒の実態について」の小講演を予定。

*事務局にお申込みください。

(先着 25 名まで受付します)

*詳しくはチラシをご覧ください

■English Open Café

各国からのゲストをお招きし、英語でプレゼンをしていただき、交流を図ります。

【と き】 9月以外の第3土曜日 13:30~15:30

【ところ】 マドカホール 3F 視聴覚室

*事務局にお申込みください。

(先着 20 名まで受付します)

にゅとぴあ岸和田 No.124

編集担当：内田満弥・大塚 洋・塩屋 裕・西村紀子・三森すみ代

お問い合わせや感想などは事務局まで

TEL&FAX (072)457-9694

https://ifa-kishiwada.rinku.org/ メール ☐ kokusai@sensyu.ne.jp

